

第1回荒尾市観光振興計画策定委員会 議事要旨

■日時 平成28年10月31日（月）午前10時～

■場所 荒尾市役所 51号会議室

■出席 委員総数18名中17名

出席委員：藤原恵洋、山代秀徳、那須良介、古庄淳一郎、福山峰一、原口文明、西川克己、矢野浩治、前田和隆、蜷川智之、江寄大作、田中宏昌、外山由恵、栗山純一、橋本茂樹、川上伸二、一木鉄也

事務局：産業振興課 宮本雄一課長、馬場理恵子観光推進室長、安松知恵参事

●委員の位置付けと役割（設置要綱）

安松参事が、本策定委員会は策定した計画について市長に対し、諮問・答申を行うものではないこと、策定委員の定数（20名以内）及び任期（策定終了まで）を説明した。

【意見・質問・要望】なし。

●委員長及び副委員長の選出

事務局提案により山代秀徳委員が委員長に選出された。また、委員長指名により那須良介委員が副委員長に選出された。

●議事

(1) 計画策定の趣旨と計画の位置づけ〔資料に沿って説明〕

安松参事が説明を行った。

【意見・質問・要望】なし。

(2) 計画策定の概要

・第1期計画の検証と第2期計画の方向性・方針〔資料に沿って説明〕

馬場室長が、第1期計画の成果・イベントの参加者の状況を踏まえ、次に取り組む必要のある項目の検証及びこれまでの目標達成について説明した。

【意見・質問・要望】なし。

・第2期計画の方向性・方針〔資料に沿って説明〕

馬場室長が、第2期計画について、これまでの第1期計画を踏襲して重要施策及び基本施策を5つ程度の施策体系に再編成し、本市の魅力の磨き上げと情報共有の場の創出、おもてなしの強化を、関係者による部会を作って進めていく方針であることを説明した。

【意見・質問・要望】

○第1期の重点施策の4つが第2期では基本施策8つに吸収され、世界遺産の

万田坑に関する項目が消えている。世界遺産については大牟田・荒尾をエリアとしてとらえて、しっかり連携して取り組んでいく必要があるのではないかと。

〔事務局〕 今回の第2期計画案の方向性では第1期の「万田坑の魅力づくり」を大きく掲げていないが、8つの施策の中に万田坑に関する施策が溶け込んでいる。その中で取り組んだ万田坑に関する施策が、総合計画の「世界遺産を活用したまちづくり」という重点施策に結びついていくようにする予定である。

三池エリアの資産がある大牟田市や宇城市との連携は強化し、今後協議会を立ち上げて取り組む。

○「A列車で行こう」の世界遺産巡りツアーのエリアを大牟田まで広げたり、教育資産として教育旅行に重点化したり、今後世界遺産になる予定の天草・島原との観光ルートを作ったりする必要がある。それに加えて宿泊してもらうことが必要である。

○道の駅構想は、十数年前からあったが頓挫している。物産品販売や情報の発信基地として海と山が連携し、有明海沿岸道の3年後の開通を見据えて拠点として整備する必要がある。

○長洲町が既に調査を始めているので、本市でも情報を集め、単独で設置したほうがいいのか、長洲と一緒にやる方法がないのかなど考えたほうがいいのか。

○競馬場の跡地に道の駅を作り、有明海沿岸道路のサービスエリア機能を持たせ、物産販売や地域交流の場とするのがいいのではないかと。

〔事務局〕 道の駅は、荒尾市の商業・観光の面で重要であるため、主管である農林水産課とともに来年度協議会を立ち上げる。来年度調査費用を予算化し、場所や経営面の検証も含めて委託で調査して実施しようという方向で進展している。

○万田坑に乗り入れている西鉄の路線バスは、本年四月から土日・祝日のみ大牟田駅から5往復運行しているが、目標に届かず実績が非常に低迷している。チラシを博多駅や天神駅などで毎月1000部配布したり、佐賀・久留米・大牟田のバス全車両にイベント情報を掲載したりしてプロモーションをしている。しっかりやりたいと思って実行しているが非常に厳しい。大牟田市も絡むことからしっかり話をさせていただきたい。

○2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、政府には世界中から来る多くの観光客を日本全体に回す構想がある。まもなくインバウンドに関する補助金が用意される。この観光振興計画の期間には2020年も含まれるので、こ

のことについても文言で触れておくと国や県の目に留まることもあると思う。

【事務局から伊原アドバイザーによるアドバイスの紹介】

宮本課長が紹介した。

第2期計画は地に足をつけた実行性のあるものにすべきで、成果検証が大切なので、部会制を敷いたほうがよいだろう。そのことで地域に観光が根付くのではないかと。また、毎年進捗をチェックして磨き上げをすることが大事である。加えて、荒尾観光まちづくり推進協議会という母体で年に2回を報告会ではなく提案型会議にしてもらえればもっと良くなるだろう。優先順位をつけ、決めたことについて期限を切って全員で重点的にやろうということが大事である。

(3) 計画策定スケジュール〔資料に沿って説明〕

スケジュールについて安松参事が説明を行った。

スケジュールの密度が高いため、会議資料については、会議前に各委員に配付し、検討の時間を設けることとした。

○了解

(4) その他

宮本課長が、策定会議の運営要領について、会議の公開（マスコミへの公開）及び議事要旨の市ウェブサイト上での公開について提案した。

○異議なし

●閉会

添付資料

- (1) 計画策定の趣旨と計画の位置づけ
- (2) 計画策定の概要
 - ・ 第1期計画の検証
 - ・ 第2期計画の方向性・方針
 - ・ 近年の観光客の推移（資料編）
- (3) 計画策定スケジュール